

令和元年度の取組概要

水害図上訓練の実施

- 実施日：令和元年10月5日(土)
- 会場：きぬがさ中央地区 草の根ハウス
- 参加者：地区住民12名
- 概要：地区内における水害リスクや危険箇所を再確認し、安全かつ迅速な避難計画を検討していくため、避難行動に対する意見交換を行った。

【想定シナリオ】

- 豪雨を想定した「早逃げ」
- やわらぎホールまでの避難

【意見交換での確認項目】

- ① 危険箇所
- ② 避難経路
- ③ 避難する時に必要なもの



結果反映

防災マップ・タイムラインの作成

- 図上訓練等で挙げられた意見を基に、過年度に作成された「防災マップ」や「タイムライン」を更新した。

避難カードの作成

- 自宅周辺の水害、土砂災害リスクを確認し安全な避難行動を促すことを目的に、きぬがさ中洲地区の世帯別に避難カードを作成し、各世帯へ配布した。

地元説明

避難訓練の実施

- 実施日：令和元年10月27日(日)
- 会場：きぬがさ城東地区 防災広場
- 参加者：地区住民40名
- 概要：避難準備情報の発令を想定し、地区が作成した防災連絡網による情報伝達訓練および避難訓練を行った。

自主防災本部打合せ



救命講習



水害・土砂災害に強い地域づくり計画説明会

- 実施日：きぬがさ中央地区 10月5日(土)
 きぬがさ中洲地区 10月19日(土)
 きぬがさ城東地区 10月27日(日)
- 参加者：きぬがさ中央地区住民 約12名
 きぬがさ中洲地区住民 約20名
 きぬがさ城東地区住民 約40名
- 概要：計画の概要、そなえる対策およびとどめる対策の内容について説明した。また、避難開始の判断の目安となる情報の入手方法等について紹介した。

きぬがさ中洲地区説明会



今後の展開

- きぬがさ3地区については、平成26年度より継続的にそなえる対策に関する取り組みがなされており、次年度以降も地元の意向を尊重し、要望があれば支援していくというスタンスをとる。
- R2出水期までに設置予定である須田川実験用水位計について、避難の目安となるアラーム通知をする水位は変更可能であるため、運用の中で模索していく必要がある。
- きぬがさ城東地区では、定期的に避難訓練を実施しており、その際実施した防災アンケートでは今後地域で実践したい取り組みとして、「AED講習(救命講習)」「地図を使った災害イメージ訓練(図上訓練)」「災害映像や講習用DVDによる勉強会」「炊き出し訓練、有識者や体験者による講話」が上位に挙げられており、次年度以降に実施を検討する。
- きぬがさ城東地区・きぬがさ中央地区では、要支援者への対応について、地区内で確認・周知しておく必要がある。

令和元年度の取組概要

避難訓練の実施

- 実施日：令和元年10月20日(日)
- 会場：葛巻地区 草の根ハウス
- 参加者：葛巻地区自治会77名、東近江市3名、県2名
- 概要：地区が独自に作成したシナリオに基づいた避難訓練を実施した。逃げ遅れた要救助者を支援者が自宅まで助けに行く訓練も行われた。



↑トランシーバーで自警団に情報確認

【避難訓練 結果】

- 草の根ハウスへの避難・・・76名
- 自宅で垂直避難・・・35名
- 外出・・・47名

【意見】

- 各班の集合場所から草の根ハウスへの安全な避難ルートを自治会がきめてほしい
- 各班の集合場所で点呼を取ってほしい
- 自警団が各家屋で避難済を確認することは災害時に負担が大きい

要救助者を支援者が自宅まで助けに行く訓練



自警団による「避難完了カード」の確認



役員説明会

- 実施日：令和元年10月20日(日)
- 会場：葛巻地区 草の根ハウス
- 参加者：葛巻地区自治会26名、東近江市3名、県2名
- 概要：避難訓練後の役員反省会において、①危機管理型水位計と河川カメラの設置、②現状の住まい方の把握および③浸水警戒区域の指定について役員に説明した。

危機管理型水位計・河川カメラ位置図



現状の住まい方の把握(家屋調査)

2階窓下の計測を今年度実施予定。

